

救急医学講座 (救命救急センターを含む)

著 書

- 1 奥村 徹：テロ災害. 大規模災害医療. 404-411. 永井書店 大阪 2007.
- 2 奥村 徹, 加藤大典：中高齢者のスポーツ. スポーツファーストエイドマニュアル. 178-185. 文光堂 東京 2007.
- 3 奥村 徹, 奥村澄枝：NBC 災害. 救急医療の基本と実際. 276-282. 荘道社 東京 2007.
- 4 瀧 健治：呼吸ケアのための呼吸器疾患事典：第4章呼吸不全と呼吸調節障害. 過換気症候群. 呼吸器ケア 冬季増刊. 154-161. メディカ出版 東京 2007.
- 5 瀧 健治, 岩橋好子, 山田みゆき：輸液管理とケア Q&A—こんなとき, どうしたらよいの?—: **Ⅷ. 環境障害, 中毒, 外傷** Q105熱中症患者の輸液管理とケアは, どうしたらよいの? ナーシングケアQ&A 17. 226-227. 総合医学社 東京 2007.
- 6 寺澤秀一, 郡山一明, 瀧 健治, 他20人：緊急被ばく医療ハンドブック～地方公共団体の観点から～. 全頁 原子力安全研究協会 東京 2007.
- 7 寺澤秀一, 郡山一明, 瀧 健治, 他20人：緊急被ばく医療ハンドブック～被ばく医療機関への搬送にあたって～. 全頁 原子力安全研究協会 東京 2007.

原著論文

- 1 Gai X, Oogushi K, Hirahara K, Nagashima F, Taki K: Acceleration of cell growth with low intracellular pH by acetazolamide, without change in intracellular Ca²⁺. *Current Topics in Pharmacology* 10(2): 13-21, 2007.
- 2 平原健司, 瀧 健治：心不全 心原性ショック. 日本臨床社 循環器症候群 I (第2版) 65別冊：173-177, 2007.
- 3 奥村 徹, 人見知洋, 小林育子, 富永隆子, 本村友一, 本村あゆみ, 廣郡聖妙, 中島厚士, 岩村高志, 伊藤栄近, 有吉孝一, 平原健司, 瀧 健治：災害の種類別にみた対応 NBC 災害と病院の対応. *救急医学* 32(2)：211-215, 2007.
- 4 Okumura T, Kondo H, Nagayama H, Makino T, Yoshioka T, Yamamoto Y: Simple Triage and Rapid Decontamination of Mass Casualties with Colored Clothes Pegs (STARDOM-CCP) System against Chemical Releases. *Prehosp Disast Med* 22: 225-228, 2007.
- 5 *竹内美奈, 中島正一, 為廣一仁, 島 弘志, 瀧 健治：第1種高気圧酸素治療装置における緊急時対応マニュアルの検討. *日本高気圧環境医学会九州地方会誌* 7：44-50, 2007.
- 6 瀧 健治, 中島正一：急性 CO 中毒への高気圧酸素療法 (HBOT) の検討—間歇型 CO 中毒症例の分析—. *蘇生* 26(2)：107-112, 2007.

総 説

- 1 奥村 徹：急性中毒の標準治療 わが国における中毒医療の現状—胃洗浄について. *中毒研究* 20(4)：354-357, 2007.
- 2 奥村 徹：中毒診療Q&A トキシドルーム. *救急・集中治療* 19(3・4)：311-315, 2007.
- 3 奥村 徹, 奥村澄枝：高齢者のスポーツ施設での救急体制. *臨床スポーツ医学* 24：57-61, 2007.
- 4 *坂本哲也, 吉岡敏治, 白川洋一, 亀井徹正, 村田厚夫, 浅利 靖, 奥村 徹, 遠藤容子, 嶋津岳士,

富岡譲二：急性中毒の標準治療 急性中毒の対症療法 循環管理. 中毒研究 20：75-80, 2007.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Kobayashi I, Kitsuki K, Yamamoto S, Horiuti T, Hamasaki Y: Prevalence of Latex Sensitization and Allergy among handicapped patients. 2007 AAAAI Annual Meeting: 195 San Diedo. CA
- 2 Okumura T: Reassessment of field Vs hospital decontamination. 15th World Congress on Disaster and Emergency Medicine. アムステルダム. 2007. 5. 14.
- 3 Okumura T: To go or not to go, that is the question Medical Responses in the 'Hot Zone'. 15th World Congress on Disaster and Emergency Medicine. アムステルダム. 2007. 5. 14.
- 4 Okumura T: Aeromedical Transportation in Japan-Recent Progress. 15th World Congress on Disaster and Emergency Medicine. アムステルダム. 2007. 5. 14.
- 5 Okumura T: Current status of countermeasures implemented against chemical terrorism in Japan after the sarin attacks. th International symposium on Protection against Chemical and Biological Warfare Agents. Gothenburg, Sweden 2007. 5. 24.
- 6 Okumura T: Activities on Chemical Working Group. GHSAG「世界健康安全保障行動グループ, Global Health Security Action Group」リスク管理及びコミュニケーション部会会議. オタワ. 2007. 6. 19.
- 7 Okumura T: Activities on Chemical Working Group. GHSAG「世界健康安全保障行動グループ, Global Health Security Action Group」局長級会合. オタワ. 2007. 6. 21.
- 8 Okumura T: Training against Chemical Terrorism in Japan GHSAG「世界健康安全保障行動グループ, Global Health Security Action Group」Chemical Working Group. 立川. 2007. 10. 9.
- 9 Okumura T: Report on Chemical Working Group. GHSAG「世界健康安全保障行動グループ, Global Health Security Action Group」局長級会合. NIH (米国ベセスダ). 2007. 11. 1.
- 10 Okumura T: Lessons learnt from the Subway Sarin Attack. 外務省プロジェクト 生物化学テロの事前対処および危機管理研修会. マレーシア クアラルンプール. 2007. 7. 3.
- 11 TAKI K, TAKI Ka, HIRAHARA K, OKUMURA T: Delayed symptom of CO poisoning and treatment. Asian Conference on Emergency Medicine 2007. The Program of 3th ACEM: 309. Seoul, Korea. 2007. 11. 15-16.

国内全国規模の学会

- 1 *浅利 靖, 奥村 徹, 富岡譲二, 白川洋一, 嶋津岳士, 坂本哲也, 村田厚夫, 亀井徹正, 遠藤容子, 吉岡敏治：わが国における中毒医療の現状 標準治療との比較を中心に一括性炭について一. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28. 抄録集：59.
- 2 *遠藤容子, 奥村 徹, 浅利 靖, 白川洋一, 嶋津岳士, 富岡譲二, 亀井徹正, 坂本哲也, 村田厚夫, 吉岡敏治：わが国における中毒医療の現状 標準治療との比較を中心に一アンケート調査結果. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28. 抄録集：58.
- 3 *波多野弥生, 野村奈央, 遠藤容子, 黒木由美子, 奥村 徹, 白川洋一, 吉岡敏治：インターネットを活用した急性中毒症例収集の試み. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28. 抄録集：118.
- 4 *平野順子, 野村奈央, 波多野弥生, 遠藤容子, 黒木由美子, 奥村 徹, 池内尚司, 吉岡敏治：トリ

- アーリアルゴリズム作成のための基礎調査—乾燥剤（シリカゲル，石灰乾燥剤）—。第29回日本中毒学会総会。2007. 7. 28. 抄録集：111.
- 5 *堀内照美，小林育子，Randall Goldblum：エストロゲン類似環境ホルモンの抗原感作における影響。第57回日本アレルギー学会。2007. 11. 1-3. アレルギー 56：1079.
 - 6 *飯田 薫，飯塚富士子，渡辺晶子，波多野弥生，黒木由美子，奥村 徹，池内尚司，大橋教良，吉岡敏治：トリアーリアルゴリズム作成のための基礎調査—ホウ酸，ヒドラメチルノン含有誘引殺虫剤—。第29回日本中毒学会総会。2007. 7. 28. 抄録集：111.
 - 7 *亀井徹正，浅利 靖，奥村 徹，坂本哲也，嶋津岳士，白川洋一，富岡譲二，村田厚夫，遠藤容子，吉岡敏治：日本中毒学会標準治療発表前後の医療機関における中毒診察の変化「標準治療を知っているか」「インフォームドコンセントを得ているか」。第29回日本中毒学会総会。2007. 7. 28. 抄録集：61.
 - 8 *川嶋隆久，石井 健，中島 勤，高橋英夫，武澤 純，郷 一知，前川剛志，稲葉英夫，瀧 健治，氏家良人，石井 昇：国立大学病院救急部実態調査報告その2（平成18年度全国国立大学病院救急部協議会臨床指標ワーキンググループ）。第35回日本救急医学会総会。2007. 10. 16. 日本救急医学会雑誌 18(8)：508.
 - 9 °室英理子，山本修一，人見知洋，小林育子，濱崎雄平など：気道上皮細胞におけるIFN- β によるRANTES産生についての検討。第19回日本アレルギー学会春季臨床大会。2007. 6. 11.
 - 10 °室英理子，山本修一，人見知洋，小林育子，濱崎雄平など：乳幼児喘息に対する吸入ステロイド薬使用について～アンケート調査報告。第35回西日本小児アレルギー研究会。2007. 9. 2.
 - 11 °西奈津子，人見知洋，小林育子，山本修一，濱崎雄平など：皮膚KeratinocyteにおけるIFN-gのIL-4受容体発現に対する効果。第57回日本アレルギー学会秋季学術大会（ミニシンポジウム）。2007. 11. 1-3. アレルギー 56.
 - 12 奥村 徹：特殊災害における医療。第3回全国消防救助救急研究会。東京。2007. 10. 7.
 - 13 奥村 徹，人見知洋，富永隆子，廣郡聖妙，小林育子，本村友一，中島厚士，岩村高志，伊藤栄近，本村あゆみ，平原健司，瀧 健治：ドクターヘリチームに必要な緊急被ばく医療の知識。第14回日本航空医療学会総会。2007. 11. 30.
 - 14 奥村 徹，人見知洋，富永隆子，廣郡聖妙，永嶋 太，本村友一，中島厚士，岩村高志，伊藤栄近，平原健司，瀧 健治：化学災害・化学テロ対応における災害拠点病院のありかた。第35回日本救急医学会総会。2007. 10. 18. 日本救急医学会雑誌 18(8)：448.
 - 15 奥村 徹，人見知洋，富永隆子，本村友一，本村あゆみ，廣郡聖妙，中島厚士，岩村高志，伊藤栄近，平原健司，瀧 健治：英国における病院前救急診療のあり方について—救急車にこだわらない救急医療提供システム。第35回日本救急医学会総会。2007. 10. 18. 日本救急医学会雑誌 18(8)：580.
 - 16 奥村 徹，人見知洋，富永隆子，永嶋 太，本村友一，本村あゆみ，中島厚士，岩村高志，伊藤栄近，平原健司，瀧 健治：化学テロ時に救急医はどこまで前に出るべきか—日本におけるプレホスピタル救命専従医の役割。第35回日本救急医学会総会。2007. 10. 18. 日本救急医学会雑誌 18(8)：569.
 - 17 奥村 徹，池内尚司，波多野弥生，飯塚富士子，飯田 薫，財津佳子，木元衣美，平野順子，渡辺晶子，黒木由美子，大橋教良，吉岡敏治：トリアーリアルゴリズム作成の試み その意義。第29回日本中毒学会総会。2007. 7. 28. 抄録集：74.
 - 18 奥村 徹，毎熊恵子，宮崎耕治，瀧 健治，十時忠秀：危機管理医学と医療安全。医療の質・安全学

会第2回学術集会. 2007. 11. 24.

- 19 奥村 徹, 吉岡敏治, 白川洋一, 浅利 靖, 嶋津岳士, 坂本哲也, 村田厚夫, 亀井徹正, 富岡譲二, 遠藤容子: 日本中毒学会標準治療発表前後の医療機関における中毒診療の変化 胃洗浄. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28. 抄録集: 58.
 - 20 *大友康裕, 吉岡敏治, 明石真言, 岡部信彦, 小井土雄一, 奥村 徹, 郡山一明, 阿南英明, 森野一真, 山本保博: NBC テロ共通の病院対応のための標準的研修コースの開発. 第12回日本集団災害医学学会総会. 2007. 1. 19.
 - 21 *大友康裕, 吉岡敏治, 明石真言, 岡部信彦, 小井土雄一, 奥村 徹, 郡山一明, 阿南英明, 森野一真, 山本保博: NBC テロ共通の病院対応のための標準的研修コースの開発. 第10回日本臨床救急医学学会総会. 2007. 5. 17.
 - 22 *嶋津岳士, 亀井徹正, 富岡譲二, 浅利 靖, 奥村 徹, 坂本哲也, 村田厚夫, 遠藤容子, 白川洋一, 吉岡敏治: 強制利尿について—標準治療との比較を中心に—. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28.
 - 23 瀧 健治: 小規模災害からの地域における災害対策の重要性. 第12回日本集団災害医学学会総会. 2007. 1. 20. 日本集団災害医学学会誌 11(2): 112.
 - 24 瀧 健治, 平原健司, 奥村 徹: 一酸化炭素中毒への高気圧酸素療法 (HBOT) について. 第22回日本救命医学学会総会. 2007. 9. 14. プログラム・抄録集: 50.
 - 25 瀧 健治, 奥村 徹: MC でのプロトコール作成の問題点と進め方. 日本蘇生学会第26回大会. 2007. 10. 5. 蘇生 26(3): 182.
 - 26 *富岡譲二, 白川洋一, 浅利 靖, 嶋津岳士, 坂本哲也, 村田厚夫, 亀井徹正, 奥村 徹, 遠藤容子, 吉岡敏治: 日本中毒学会標準治療発表前後の医療機関における中毒診療の変化血液浄化法. 第29回日本中毒学会総会. 2007. 7. 28. 抄録集: 60.
 - 27 °吉田和代, 宇都宮至, 吉田昌人, 江村 正, 平原健司, 野出孝一: 大学—地域医療機関の連携によるコメディカルスタッフへの救急蘇生教育の効果. 第39回日本医学教育学会. 2007. 7. 27-28. 地方会規模の学会
- 1 人見知洋, 小林育子, 浜崎雄平, 瀧 健治: 佐賀大学救命救急センターの小児救急医療への取り組み. 第30回佐賀救急医学会. 2007, 9, 8. 佐賀救急医学会抄録集: 34 (シンポジウム)
 - 2 °井上奈央子, 本村友一, 中島厚士, 岩村高志, 伊藤栄近, 人見知洋, 小林育子, 平原健司, 奥村 徹, 瀧 健治: AED 使用し完全社会復帰をはたした心肺停止の1例. 第30回佐賀救急医学会2007, 9, 8. 佐賀救急医学会抄録集: 18
 - 3 本村友一, 瀧 健治: 日本 DMAT 隊員養成コースと新潟中越沖地震時の日本 DMAT の対応. 第30回佐賀救急医学会. 2007. 9. 8. 佐賀救急医学会抄録集: 27.
 - 4 木村友一, 瀧 健治: 小児救急シート作成の試み. 第30回佐賀救急医学会. 2007. 9. 8. 佐賀救急医学会抄録集: 25.
 - 5 奥村 徹: 「臨床中毒学の最新情報」. 平成19年度第1回佐賀医学会・日医生涯教育講座特別講演. 佐賀. 2007. 7. 14.
 - 6 °多胡雅毅, 石井賢治, 小泉俊三, 平原健司, 江村 正: 新卒後医師臨床研修制度での大学病院における救急研修の現状と今後の改善課題について. 第30回佐賀救急医学会 2007. 9. 8. 佐賀救急医学会抄録集: 29.

その他の学会

- 1 岩村高志, 瀧 健治, 大串和久: マムシ咬傷の治療方針 (フローチャート) 改訂. 第33回アルカロイド研究会. プログラム・要旨集: 29.
- 2 °永沢善三, 中島由佳理, 草場耕二, 楠原久代, 瀧 健治: 各種細菌に対する炭酸脱水酵素抑制剤の影響について一薬剤併用効果の検討一. 第3回日本炭酸脱水酵素研究会. 学術集会抄録集.

研究助成等

| 職名 | 氏名 | 補助金(研究助成)等の名称 | 種目 | 研究課題等 | 交付金額 (千円) |
|----|------|----------------|----------------------------|-------------------------------------|--------------|
| 教授 | 奥村 徹 | 文科省安全・安心プロジェクト | 平成19年度 科学技術試験 研究委託事業 | リアルタイムでの化学剤・生物剤の検知システム構築のための検知技術の開発 | 12,000 |
| 教授 | 奥村 徹 | 厚生労働科学研究費補助金 | 健康危機管理・テロリズム対策システム研究事業 | 健康危機管理における効果的な医療体制のあり方に関する研究 | 400 |
| 教授 | 奥村 徹 | 厚生労働科学研究費補助金 | 健康危機管理・テロリズム対策システム研究事業 | 国際連携ネットワークを活用した健康危機管理体制構築に関する研究 | 1,400 |
| 教授 | 奥村 徹 | 厚生労働科学研究費補助金 | 化学物質リスク研究事業 | 家庭用化学製品のリスク管理におけるヒトデータの利用に関する研究 | 1,000 |
| 教授 | 奥村 徹 | 厚生労働科学研究費補助金 | 地域健康危機管理研究事業 | 地域での健康危機管理情報の早期探知, 行政機関も含めた情報共有 | |